

今日はウサギの話をします。夏休み前、4年竹組の友だちが育てていたウサギが、死んでしまいました。そのウサギの名前は、「イチゴ」。イチゴのように目が赤く可愛いからです。



4年竹組では、昔のチャボ小屋などを改造して、日野小の動物園みたいになりたいという夢を持っていました。その夢の第1号がカメ、第2号がカブト

虫、第3号のウシガエルも一時飼いました。そして、念願が叶い、ウサギを迎えました。

ちょうど、ホタルが舞い始めた6月から1月半で死んでしまいました。

金曜日、小屋の中でぐったりしているウサギに気づきました。前の日まで、元気にえさを食べていたと言います。みなさんも、中庭で嬉しそうにしている様子を見かけた人もいたと思います。そのウサギに触れていた人もいましたね。

「なんで、昨日まであんなに元気だったのに」「餌だって食べていた」と。ぐったりして息も絶え絶えになっている目の前のウサギの状態を受け入れることができません。

そんなウサギをただ見ているわけにはいかなかったのでしょうか。大きなプラスチックのケースにそっと入れてやりました。ぬくもりはあるもののほとんど動きません。ぐったりしていました。

一人の4年の女の子が、そのケースを抱えて立ち上がりました。そして、昇降口の方へ向かって行きました。その子の後ろ姿は凜としていて迷いがありませんでした。その後を何人かの男子や女子がうなだれて付いていきました。その場にちょうど居合わせてた校長先生の目には、その姿が未だにはっきりと残って忘れられません。

その後、担任の先生の話では、教室に運んだものの、息は絶え絶えになっていった。何とかしようと、図書館に飛び込んで、ウサギの本を手当たり次第に調べ、手当ての仕方、命を助ける方法を懸命に見つけようとしたそうです。しかし、そんな努力もむなしく、給食前「先生ダメだ、動かなくなっちゃった」と語り、ウサギの死を覚悟したということです。ある女子は、大声で泣いたと言います。ある男子は、「俺のバカ、俺のバカ」と言って、弱っているウサギに気づけなかった自分をひどく責めたと言います。

このようにして、4竹のウサギ、「イチゴ」は息を引き取ったのです。その日の6時間目にクラブがありました。校長先生は釣りクラブです。4竹の

男子が何人も入っています。その人たちがいつもの元気がないのは、ウサギのイチゴであることはすぐわかりました。一人の男の子は、目を真っ赤に腫らしているのに気づきました。無理はないなと思いました。あれだけ、自分たちの夢見た動物園に、ウサギが来るのを楽しみにしていたのだから。毎日のように校長先生や永井先生たちに話してくれていたのだから。

息を引き取ったイチゴは、4竹の人たちの手によって、小屋の近くに土を掘って埋めてやったということです。

そして、休み明けの月曜日、イチゴの死をなかなか受け入れられなかった4竹の人たちが、イチゴのお墓をみんなで作ってやったのです。どこから見つけてきたのでしょうか。コンクリートの柱に「イチゴのおはか」と刻まれていました。下には、小枝を並べて「イチゴちゃん」と並べてありました。その周りには、アジサイの花がイチ



ゴのお墓を包むように飾られていました。数人の女の子が、中庭で四つ葉のクローバーを見つけていました。「四つ葉のクローバーをさがしてるの」「四つ葉のクローバーはラッキー（幸運）が起こるかも」30分くらいかかったのでしょうか。密集したアジサイの花の中に見つけてきた四つ葉のクローバーを埋め込みました。一時間目の終わりが近づくと「じゃあ、また二時休みね」と、イチゴのお墓に語りかけ、昇降口の方に走っていきました。イチゴの命は、まだこの子たちの中に宿っているような気がしました。



ウサギのイチゴの死という悲しい結果に終わってしまいましたが、たとえ短い期間であっても、4竹の人たちにとって、イチゴとのかけがえのないらしがありました。

たとえ短い期間でも、命にふれ、命を育てた実感であり、命を失った何とも言えない別れの悲しみでもありました。

ちょっと暗い話になってしまいましたが…

夏休み中、日本の裏側にあるブラジル、リオで多くのオリンピック選手が、熱戦を繰り広げていました。あの選手たちの姿が、観ていて涙が出るほど、私た

ちに、すばらしい感動を与えるのはなぜでしょう。

それは、4竹の人たちのように、一つのこと、自分の決めたこと、願ったことについて、思いをかけているからではないかと思うのです。

それが、ウサギであろうと、カメであろうと、カエルであろうと、アサガオであろうと、お掃除であろうと、オリンピックであろうと…

思いをかけると言うことはそういうことだと思ったのです。

さあ、2学期が始まりました。この2学期、皆さん一人ひとり、何に思いをかけるのですか。思いをかけることを見つけてほしい。それが校長先生の願いです。

2がっき

おもいをかけるもの

を見つけよう